

第3回
河内長野市の学校における
食育及び
中学校給食調査検討会議

平成21年11月

河内長野市中学校給食調査検討委員会

式 次 第

開 会

1. 調査・検討

食育について

I. 食育の推進の必要性について

5. 食に関する指導について

学校給食について

近年の学校給食の実施について

I. 食育の推進の必要性について

5. 食に関する指導計画について

学校における食育を推進するためには、各学校において食に関する指導に係る全体計画を作成する必要があります。

また、国の食育推進計画においても、「学校における食育の推進のためには、子どもが食について計画的に学ぶことができるよう、各学校において食に関する指導に係る全体計画が策定されることが必要であり、これを積極的に促進する。特にその際には、学校長のリーダーシップのもとに関係職員が連携・協力しながら、栄養教諭が中心となって組織的な取組を進めることが必要である。」と各学校での全体計画の必要性を掲げています。

このように学校における全体計画を重視している理由として次のような点があげられます。

- ① 学校における食育は、給食の時間、特別活動、各教科等の様々な教育の内容に密接かわり、その推進のためには様々な取組がとめられています。
このため、学校教育全体の中で計画的に体系的な食に関する指導を行っていくことが必要であります。
- ② 学校の教職員全体で食育に取り組む上で、学校全体の食育の目標や具体的な取組についての共通理解をもつことが必要であります。
- ③ 児童生徒が食について理解を深め、日常の生活において実践していくためには、学校での指導と併せた家庭や地域社会での取組が必要であります。

《全体計画に掲げることが望まれる内容について》

全体計画を作成するに当たり、各学年における年間にわたる指導と各教科等における指導内容とを系統的に整理し、各教職員の役割と相互の連携を明確にしておくことが必要であります。

- ① 学年全体の食に関する指導の目標を設定すること。
- ② 学年ごとの食に関する指導の目標を設定すること。
- ③ 給食の時間における食に関する指導の内容等を年間を通しての一覧として整理すること。
- ④ 学年ごとに各教科、特別活動、総合的な学習の時間等における食に関する指導の内容等を抽出し、それらを年間を通しての一覧に整理すること。
- ⑤ 個別相談指導の在り方について示すこと。
- ⑥ 地場産物の活用の在り方について示すこと。
- ⑦ 保護者や地域との連携の在り方、隣接する学校との接続について示すこと。

以上のような内容から構成される全体計画がその学校の全体計画となります。

さらに、全体計画を踏まえて、各学年の年間指導計画を作成することで、各学年の食に関する指導の意図が明確になります。

《各教科等における食に関する指導の展開》

学校における食育を進めるためには、食に関する指導の基本的な考え方、指導方針等を明確にし、教職員の共通理解を図り、各教科や特別活動、道徳、総合的な学習の時間と言った学校教育活動全体を通して行われることが重要です。

具体的な食に関する指導場面については、各教科等において行われることとなりますが、現行の学習指導要領における各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間での食に関する指導の位置付けを明確にし、学校給食との関連付けやどのような指導が可能なのかなど事例を交え項目立てで整理することが大切であり、下記の項目に整理すれば良いと思われ

- ①教科の目標 : 学習指導要領に書かれている目標
- ②教科の特性 : その教化が持つ特別な性質をわかりやすく紹介
- ③教科の内容 : 学習指導要領に記述している内容から食に関する内容について提示
- ④食に関する指導の進め方 : 食に関する指導の指導例
- ⑤実践事例 : 食に関する指導の中でいくつかの実践事例を紹介
- ⑥栄養教諭の係わり方 : 栄養教諭が指導する場合、どのようなかかわり方が可能なのかを、教科等の特性の応じて記述

各論における食に関する指導の内容は、あくまで参考であり、それぞれの学校や児童・生徒に合わせて創意工夫に努めていくことが重要であると考えます。

以上で、食育の必要性と現状や課題等の説明をさせていただきました。

これらを踏まえて、今後の河内長野市の学校における食育のあり方等について、議論していただきますようお願いいたします。

食育の推進及び充実について

- 食育の位置付けについて
学校の教育目標と、指導計画
- 指導体制の充実
組織をつくり校務分掌に位置付け
- 子どもへの指導内容の充実
全体計画の策定、指導時間の確保、体験活動の推進等
- 学校と給食センターとの連携について
学校給食の充実、地産地消の推進
- 家庭・地域との連携について
生活リズムの向上（早寝早起き朝ご飯）
望ましい食習慣や知識の習得
- その他
生産者との交流等
食文化の継承（郷土料理）

《学校給食について》

(近年の学校給食の実態)

学校給食は、言うまでも無く学校における教育活動の一環であり、食に関する指導の大きな役割を担うものであります。

学校給食の趣旨から考えると、基本的に完全給食で全員一斉給食とすることが望ましい。しかし、近年新たに中学校給食の実施を始めた自治体では、給食と家庭からの弁当を選択できる方式の採用が増えてきています。

ただ、選択性とした場合の問題点としては、次のようなことが考えられます。

- ・望ましい昼食を摂れていない生徒（家庭からの弁当を持参できない生徒）も給食を選択するかどうか家庭任せになる点
- ・家庭の事情で給食を選択せざるを得ない生徒の心境などの課題

しかし、親子の絆を深めるために弁当作りに励んでいる保護者がおられ、持参弁当の教育的意義を重視される保護者もおられます。

以上で、学校給食の説明、課題等の提起をさせていただきました。

今後、これらを参考にして、河内長野市の中学校給食について、さらに議論をしていただきたいと考えております。

中学校給食実施について

○食育の観点

食育を推進する上での学校給食

○生徒からの観点

嗜好、男女間の問題

瘦身傾向、肥満について

○保護者からの観点

栄養のバランス、負担について

○財政的からの観点

市の財政状況による問題

実施形態について

河内長野市の学校における食育及び中学校給食調査検討委員会
委員名簿

	所 属 等	氏 名	備 考
委員長	関西外国語大学 教授	岡 澤 潤 次	
副委員長	河内長野市地域女性団体協議会	山 本 淑 子	
委員	河内長野市立天見小学校長	森 惠 子	
委員	河内長野市立西中学校長	三 並 茂	
委員	河内長野市立長野小学校教諭	西 野 由美子	
委員	河内長野市立東中学校教諭	宮 阪 和 代	
委員	河内長野市 P T A 連絡協議会	辻 祥 子	
委員	河内長野市 P T A 連絡協議会	梶 本 奈 美	